まなびいもがみ

発 行 ： 最上町教育委員会 生涯学習室
発行日：令和4年8月25日（隔月発行）

《最上町生涯学習スローガン》　町民ひとり　１学習　１スポーツ　１地域活動

第54回最上町総合芸術文化祭

今年で54回目となる最上町総合芸術文化祭が中央公民館にて開催されます。
皆様のご来場お待ちしております！
なお、発表団体は後日お知らせいたします。

〇開催期間〇
日にち：令和4年10月20日（木）～11月6日（日）

≪展示部門≫
一般公募展
日にち：令和4年10月20日（木）～10月26日（水）

合同展示発表
日にち：令和4年10月29日（土）～10月31日（月）
いけばな展
日にち：令和4年10月29日（土）～10月31日（月）
茶道部門発表（表千家翠和会茶道研究会）
日にち：令和4年11月6日（日）
≪舞台発表部門≫
合同舞台発表
日にち：令和4年11月6（日）
特別ゲスト：YCBバンド（天童市）

問い合わせ先：教育文化課　生涯学習室
☎43-2350（中央公民館内）

≪最上町芸術文化団体協議会加盟団体一覧≫

〇最上町写真愛好会　〇華道栖草流最上支部
〇最上書会　〇華道瑩心流最上支部
〇千川流貴蓉の会　〇パッチワーク教室やまぼうし
〇ふしぎな花倶楽部もがみ押し花会
〇新庄龍山短歌会瀬見教室　〇最上吟友会
〇ハーモニカ愛好会　〇最上町コーラス隊「絆」
〇アンサンブルヴェルデ　〇炉ばたの会
〇富山観音太鼓保存会　〇最上町音頭保存会
〇東法田田植え舞保存会
〇表千家翠和会茶道研究会
〇最上町歴史ロマンをほっする会

18団体（順不同）

第3回　国宝「縄文の女神」ペーパークラフトデザインコンテスト　作品募集

応募資格・小学生部門/（小学4～6年生）
・中学生部門/（中学1～3年生）
・一般部門/（小学3年以下、高校生以上）
※いずれも最上郡に在住している方が対象です。

応募方法・最上町中央公民館へ「応募用紙」と「作品」を提出ください。
※事前に応募用紙とキットを最上町中央公民館で受け取ってください。
・中学生以下は無料（舟形町・最上町・大蔵村在住の方のみ）
上記以外の方は700円の参加費用が掛かります。

応募締切：9月16日（金）
※審査発表は10月中旬

賞：各部門ごとに　賞状・トロフィー・副賞（図書券　1,000円分など）があります。

〇詳しくは、最上町中央公民館生涯学習室（☎43-2350）までお問い合わせください。

第2回
最優秀賞作品です！

小学生の部

中学生の部

一般の部

ペーパークラフトでオリジナルの縄文の女神を作ってみよう!!

☆新しい本が続々入荷中です！☆

図書室新刊情報

≪第167回直木賞受賞作品≫
＊「夜に星を放つ」 窪美澄著（文藝春秋）
≪日本おいしい小説大賞≫
＊「百年厨房」 村崎なぎこ著（小学館）
＊「爆弾」 呉勝浩著（講談社）
＊「絞め殺しの樹」 河崎秋子著（小学館）
＊「スタッフロール」 深緑野分（文藝春秋）
≪第127回文學界新人賞受賞≫
＊「N/A」 年森瑛著（文藝春秋）

＊「ギフテッド」 鈴木涼美著（文藝春秋）
＊「朽ちてゆく庭」 伊岡瞬著（集英社）
＊「俺ではない炎上」 浅倉秋成著（双葉社）
＊「さんず」 降田天著（小学館）
＊「ウェルカム・ホーム」 丸山正樹（幻冬舎）
＊「渚の螢火」 坂上泉著（双葉社）
＊「くるまの娘」 宇佐美りん著（河出書房新社）
＊「オリーブの実るころ」 中島京子著（講談社）
＊「その本は」又吉直樹・ヨシタケシンスケ著（ポプラ社）
＊「人生相談を哲学する」森岡正弘著（生きのびるブックス）
＊「ノンストップ！ワリカツFan Book
　　ずん・飯尾の開き直りごはん」 飯尾和樹著（扶桑社）
＊「六つ目編みで作るクラフトバンドのバッグとかご
　作りがいのある、使い勝手のよい雑貨」 松田裕美著（誠文堂新光社）
＊「紙バンドで作る「結び編み」大集合♪かごバッグと雑貨」 （ブティック社）

この夏は“怪しいお話”でゾッとしてみる・・・？

「よって件のごとし
三島屋変調百物語八之続」
宮部みゆき著（KADOKAWA）

「生と死の狭間で語られる一度きりの百物語」
江戸は神田三島町にある袋物屋の三島屋は、風変わりな百物語をしていることで知られている。語り手一人に聞き手も一人、話はけっして外には漏らさず、「語って語り捨て、聞いて聞き捨て」これが三島屋の変わり百物語の趣向である。
従姉妹のおちかから聞き手を受け継いだ三島屋の「小旦那」こと富次郎は、おちかの出産を控える中で障りがあってはならないと、しばらく百物語をお休みすることに決める。
休止前の最後の語り手は、商人風の老人と目の見えない彼の妻だった。老人はかつて暮らした村でおきた「ひとでなし」にまつわる顛末を語りだす。

令和4年度
最上町「二十歳の集い」開催!!

成人年齢引き下げにより18歳が新成人となりますが、最上町では20歳を迎えた方を対象に「成人式」の名称を変え「二十歳の集い」とし、令和4年8月16日（火）に最上町中央公民館大ホールを会場に執り行われました。
　32名の参加者が、久しぶりに会う友人との再会にも笑顔が溢れていました。
　新型コロナウィルス感染症第7波の中の開催となりましたが、中学校の恩師も出席してくださり、式典を盛り上げてくださいました。
　これからまた、新たな未来へ向け歩き始めた皆さんに幸多かれと祈りを込めたいと思います。
　実行委員の皆さんは2か月間看板作成などこの日のために夜遅くまでがんばってくれました。お疲れさまでした。